

支援方針

- ①本人の学習状況に応じた個別課題に取り組み、反復練習することで学習療育の効果を上げます。
- ②認知機能・作業トレーニング(COGOT)、社会生活技能訓練(SST)を取り入れ、事故を未然に防止し、社会で生きる力を養成します。
- ③野外活動等により、集団行動のルールを覚え、交流することで仲間意識を高め、楽しみながら野外療育を行います。

作成年月日:令和7年3月20日

営業時間 :14:00~18:00(放課後)

9:30~15:30(学休日)

送迎実施 :あり

健康状態

<健康・生活>

- ・健康状態の維持・改善
- ・基本的な生活スキルの獲得
- ・生活におけるマネジメントスキルの育成

心身機能・構造

<運動・感覚>

- ・姿勢と運動・動作の基本的技能の向上
- ・身体の移動能力の向上
- ・保有する感覚の活用
- ・感覚の特性への対応

活動

<認知・行動>

- ・認知の特性についての理解と対応
- ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得
- ・行動障害への予防及び対応

参加

<人間関係・社会性>

- ・アタッチメントの形成と情緒の安定
- ・遊びを通じた社会性の促進
- ・自己の理解と高度の調整
- ・仲間づくりと集団への参加

個人因子

<体験・経験(行事等)>

野外活動)ウォークラリー、野外炊事、運動会、スイカ割り、買い物訓練、卓球、遠足、餅つき、お花見等
創作活動)うちわ作り・クリスマスリース作り、書初め、プラネタリウム鑑賞、プログラミング教室等
イベント)夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会等

環境因子

<家族支援>

- ・アタッチメントの安定
- ・家族からの相談に対する助言等
- ・障害の特性に配慮した家庭環境の整備

<移行支援>

- ・放課後児童クラブ等への移行支援
- ・ライフステージの切替を見据えた将来的な移行に向けた準備

<地域支援・連携>

- ・学校・放課後児童クラブ、地域の関係者・関係機関と連携した支援

<職員の質の向上>

- ・事業所内・法人内研修、外部研修の受講
- ・法人内外の勉強会・研究会への参加